

ゆ り だ よ り

春日こども園

令和7年度 活動報告 NO. 5



＜交通教室＞

交通指導員さんから道路の歩き方を教えていただいた後、実際に園外を歩きました。横断歩道やマムの駐車場出入口などを渡りました。「手を挙げて渡る」「お礼を言う」ことはできている子が多くいましたが、前後左右の確認はしているつもりの子が多く、目線が下だったり、確認しても自分で判断して歩き出せなかったりする子が目立ちました。就学に向けて「自分の命は自分で守る」意識をもち「自分で正しく判断する」ことができるように指導していきます。



＜秋の遠足＞

園から雄踏総合公園（芝生広場）まで歩いて行きました。初めての長い距離に歩き疲れてしまう子もいましたが公園についてから異年齢の友達とふれあい遊びをしたり、一緒にお弁当を食べたりしました。お弁当の準備や片付けを手伝うなど年長児としてお世話する姿も見ることができました。そして待ちに待った自然散策。いろいろな形のどんぐりや虫を見つけたり、広い芝生を走り回ったりしました。秋の自然に触れる楽しさを感じたり、出会いや発見に心を動かしたりして遊ぶ姿が見られました。普段の保育では味わえない貴重な体験でした。拾ったどんぐりを使って何を作ろうか考え、作るのを楽しみにしていました。



＜異年齢交流＞

たんぽぽ組さんがゆり組の保育室に遊びに来ました。事前にどんな遊びをしたいのかやどのようにかかわりたいのか話し合いました。「どんぐり転がしをしたいな」「〇〇作れば一緒に遊べるんじゃない？」などと一緒に楽しむ姿を想像しながら何を作るか考え、作っていきました。たんぽぽ組さんが来ると「一緒に遊ぼう」と声を掛け世話をする姿が見られ成長を感じました。たんぽぽ組さんが喜んでくれるように自分たちでできることを考えたり、思いやりをもってかかわったりすることで優しさや思いやりの心を育てていきます。



＜大道具・小道具作り＞

自分たちの劇でどんな道具が必要か考えたり話し合ったりしました。「ダンボールを使って〇〇を作りたいな」「〇〇を持って出てきたらどう？」と自分の思いを伝えたり友達の意見を認めたり受け入れたりする姿が見られました。劇の練習を進めていくと子どもたちから「これも必要じゃない？」と新たなアイデアが次々に出てそれを形にするために考えたり試したりしています。道具一つ一つに子どもたちの思いが表現され劇の世界に彩りを添えてくれます。ぜひ道具にも注目してご覧ください。



＜さつまいもの収穫＞

玉ちゃん会のみなさんが大事に育ててくれたさつまいもの収穫体験をさせていただきました。5月に植えた苗はみごとに成長していました。掘り方を教えてもらい実際に土を掘っていくと少しずつ芋が見え、「うわー」と喜びの声が。少し掘って引っ張ってみても、なかなか抜けず、芋を掘る大変さを実感していました。何人かで力を合わせたお芋が掘れると「とれたよー」と笑顔で喜びを表現していました。掘ったお芋を見て「なんで紫じゃないんだろう？」と質問があがると「甘くておいしい安納芋だからだよ」と答えてくださいました。地域の方の御厚意に触れ、食べ物を育て、収穫する大変さや喜びを知ることができました。



＜10月誕生会＞

誕生児がイラストを見て、ヒントを出し、それを聞いた他の子が答えを当てるクイズをしました。そうのイラストだった時には「鼻が長いです」「耳が大きいです」などとヒントを出していました。ヒントが出ると「分かった！」とすぐに手をあげる子がいました。動物はすぐにわかる子が多かったですがサッカーボールなど物になるとヒントを何度も聞いて考えながら答えていました。